

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公表番号】特表2010-539192(P2010-539192A)

【公表日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-525114(P2010-525114)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/125 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/125

A 6 1 P 31/12

A 6 1 K 39/39

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月14日(2011.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ノロウイルスのウイルス様粒子(VLP)および少なくとも1つのアジュバントを含む、ヒトにおいてノロウイルス感染に対する防御免疫を誘発するためのワクチン組成物。

【請求項2】

前記ノロウイルスVLPがノロウイルス遺伝子群Iおよび遺伝子群IIウイルス株からなる群から選択される、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項3】

前記ノロウイルスVLPが一価VLPである、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項4】

前記ノロウイルスVLPが多価VLPである、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項5】

第2のタイプのノロウイルスVLPを含む、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項6】

前記第1および第2のノロウイルスVLPが、異なる遺伝子群由来の一価VLPである、請求項5に記載のワクチン組成物。

【請求項7】

前記第1のノロウイルスVLPがノーウォークウイルスVLPであり、前記第2のノロウイルスVLPがヒューストンウイルスVLPである、請求項6に記載のワクチン組成物。

【請求項8】

送達剤をさらに含む、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項9】

前記送達剤が生体付着剤である、請求項8に記載のワクチン組成物。

【請求項10】

前記生体付着剤が粘膜付着剤である、請求項9に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 1】

前記粘膜付着剤が、デルマタン硫酸、コンドロイチン、ペクチン、ムチン、アルギン酸塩、ポリ(アクリル酸)の架橋誘導体、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、多糖類、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、レクチン、線毛タンパク質、およびカルボキシメチルセルロースからなる群から選択される、請求項10に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 2】

前記粘膜付着剤が多糖である、請求項11に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 3】

前記多糖が、キトサン、キトサン塩、またはキトサン塩基である、請求項12に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 4】

前記アジュバントが、t o l l 様受容体(TLR)アゴニスト、モノホスホリル脂質A(MPL)、合成脂質A、脂質A擬似体または類似体、アルミニウム塩、サイトカイン、サボニン、ムラミルジペプチド(MDP)誘導体、CpGオリゴ、グラム陰性細菌のリポ多糖(LPS)、ポリホスファゼン、エマルジョン、ビロソーム、コキレート、ポリ(ラクチド-コ-グリコリド)(PLG)微小粒子、ポロキサマー粒子、微小粒子、およびリボソームからなる群から選択される、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 5】

前記アジュバントがt o l l 様受容体(TLR)アゴニストである、請求項14に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 6】

前記アジュバントがMPLである、請求項14に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 7】

前記アジュバントが毒素アジュバントではない、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 8】

粉末製剤である、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 1 9】

液体製剤である、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 0】

粘膜、鼻腔内、筋肉内、静脈内、皮下、皮内、真皮下、および経皮投与経路からなる群から選択される経路によってヒトに投与される、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 1】

鼻腔内に投与される、請求項20に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 2】

鼻通路の近くに保持される前記ワクチン組成物を含む1つ以上のデバイスからの鼻道内における迅速な被着によって、鼻粘膜に投与される、請求項21に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 3】

一方または両方の鼻孔に投与される、請求項22に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 4】

前記ノロウイルスVLPが、約0.01%(w/w)～約80%(w/w)の濃度で存在する、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 5】

前記ノロウイルスVLPが、1用量あたり約1μg～約100mgの量で存在する、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 6】

前記ノロウイルスVLPが、1用量あたり約1μg～約100μgである、請求項25に記載のワクチン組成物。

【請求項 2 7】

ノロウイルス感染の1つ以上の症状に対して防御する、請求項1に記載のワクチン組成物。